

平成30年度

南アルプス市障害者自立支援協議会報告書

平成31年3月

南アルプス市障害者自立支援協議会

はじめに

南アルプス市障害者自立支援協議会の平成 30 年度報告書を皆様にお届けいたします。
昨年度から、地域生活支援拠点の検討を重点課題として、相談支援体制の再構築を中心に議論を進めています。自分の暮らしたい地域で生活をしたい。困った時に必要なサポートを受けられる地域であってほしい。親亡き後も安心して暮らしたい。これは、障害や病気のある人たちのみでなく私たち市民にとっても必要なものです。

10 年前、民間が市の相談支援事業を担うようになり、障害者の方の相談支援の中核を担う基幹相談支援センターも出来上がりました。この協議会で市に提案をし、1 つ 1 つみんなで創ってきたものを、さらに発展させ、永続していけるよう今後も協力していきます。

また次年度は、障害者計画策定の年にもあたります。実際に生活をされている方、支援者の方色々な方たちの声をわが町の支援体制整備に活かすべく取り組んでいきます。

皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

南アルプス市障害者自立支援協議会会長 鴨作 光昭

目次

南アルプス市障害者自立支援協議会について	2
地域の解決困難事例から展開する自立支援協議会<図>	3
平成 30 年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図	4
協議会ダイジェスト	
定例会	5
専門部会 権利擁護部会	6
専門部会 地域移行部会	7-9
専門部会 地域生活支援拠点部会	10
専門部会 障害者計画部会	11
連絡会 計画相談支援事業所連絡会	12
障害福祉サービス事業所合同説明会	13
障害者施策推進協議会	14-15
年間スケジュール	16
委員名簿	17

南アルプス市障害者自立支援協議会について

●障害者自立支援協議会とは

南アルプス市で暮らしている方で、障害や病気のある方（当事者）が地域での生活を送るうえでは、「必要な制度や福祉サービスの不足や使いにくさ」「必要な情報が届いていない」等の課題があります。また、当事者の地域生活を支える支援者においても、当事者のよりよい生活の実現を目指す中で、地域に必要な支援体制が整っていないために「すぐには解決できない」課題に直面することがあります。

南アルプス市障害者自立支援協議会は、このような課題を地域の福祉課題として取り上げて、様々な立場の支援者が解決に向けて話し合う場です。

※参考 図：地域の解決困難事例から展開する自立支援協議会 p 2 掲載

●実施体制

次の4つの形態の会議で構成され、市障害福祉課と障害者相談支援センターが事務局を務めています。

- | | | |
|--------|---------------------------------|--------|
| 「定例会」 | 地域の関係機関の実務者による地域の福祉課題の解決に向けた協議 | （定期開催） |
| 「運営会議」 | 正副会長と事務局による地域の福祉課題の整理や協議の方向性の確認 | （定期開催） |
| 「専門部会」 | 定例会で協議された課題等に対する具体的な取り組みの場 | （随時開催） |
| 「連絡会」 | 同種の事業所間による情報共有やネットワークづくりの場 | （定期開催） |

各会議が相互に連動することで協議会は活性化し、当市の障害者相談支援体制の充実に結びつきます。言い換えれば、当事者が「その人らしく、よりよく生活する」ことの実現の鍵は、自立支援協議会が活発に動くことです。また、協議会で話し合われたもので、施策化が必要となるものは障害者施策推進協議会で取り上げられることとなります。

※参考 図：平成30年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図 p 3 掲載

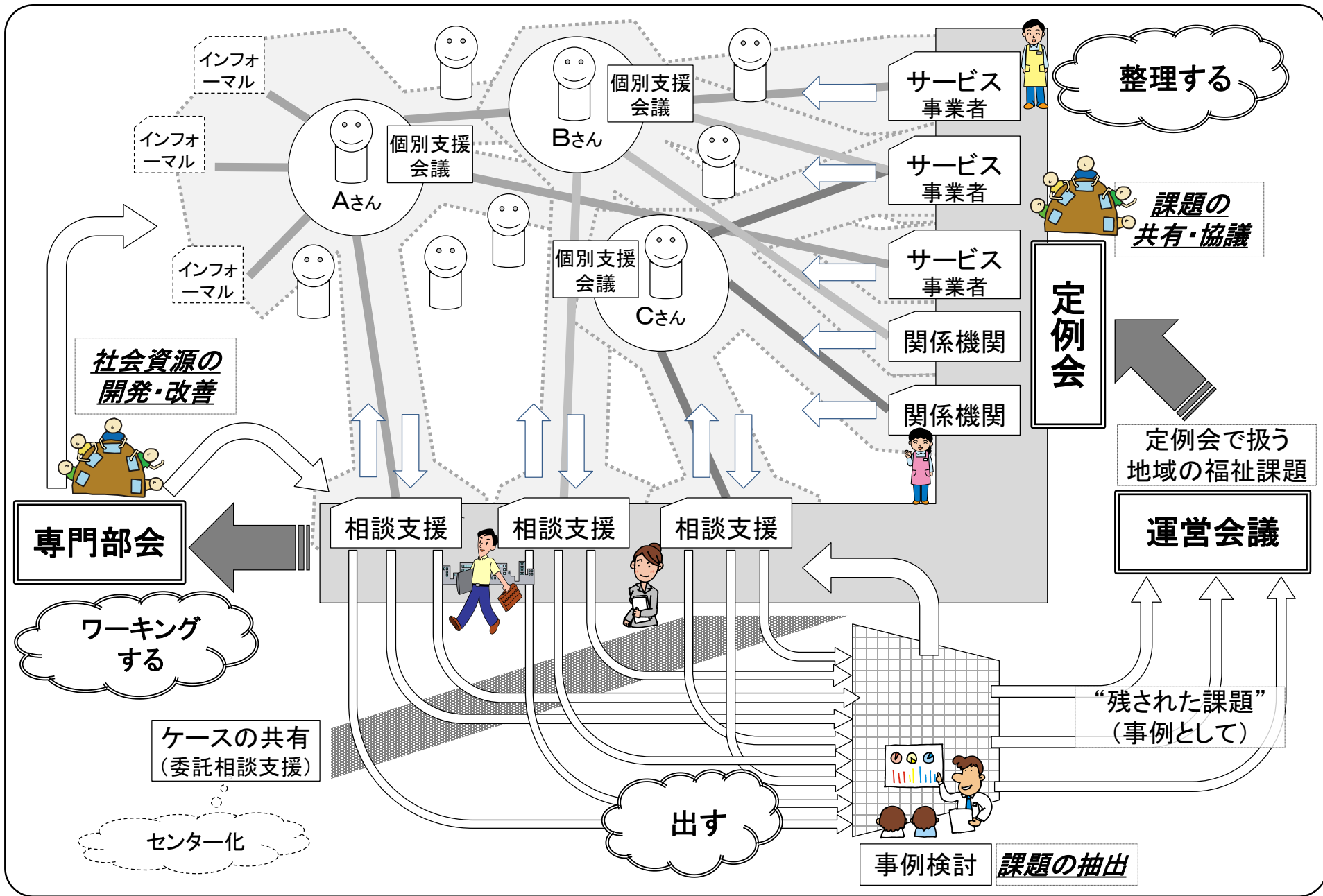
●平成30年度の活動概要

本年度は、地域生活支援拠点部会での南アルプス市障害者相談支援センターの体制強化に係る南アルプス市長への提言書の作成や、協議会定例会での市内の計画相談支援に関する課題、障害者相談支援センター委託事業所撤退に伴う障害者相談支援センターの在り方に関する議論等、南アルプス市の障害者相談支援体制に関する議論を含めた1年となりました。

障害者虐待防止体制づくりを目指す権利擁護部会では、当事者の権利擁護だけでなく、日々支援を行う従事者のメンタルヘルスにも焦点を当て、当事者、従事者双方の権利擁護に取り組みました。精神科病院における社会的入院の解消と予防に取り組む地域移行部会では、昨年度の調査に基づいた個別支援、入院患者に向けての情報提供や他分野との連携などより具体的な活動が展開されました。計画相談支援事業所連絡会においても、情報の共有や課題解決に向けた具体的な活動が展開されました。障害福祉サービス事業所合同説明会では実行委員会への保護者の参画、開催時期の見直しを行い、次年度に向けてより参加しやすい説明会の企画をすすめました。

この報告書では、本年度の南アルプス市障害者自立支援協議会の動きをお伝えします。協議会の委員だけでなく、当事者や家族、支援関係者の様々な形での協働を得る中で、活動が展開された一年。本年度の成果と課題を次年度に活かしながら、今後も南アルプス市の相談支援体制整備に努めます。

地域の“解決困難事例”から展開する自立支援協議会



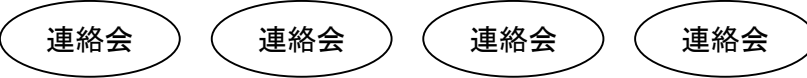
平成30年度南アルプス市障害者自立支援協議会体制図

南アルプス市障害者自立支援協議会

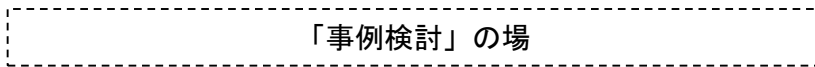
①ある当事者のより良い暮らしを目指して本人・支援者が話し合う「個別支援会議」は協議会の最小単位



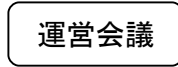
②同種の事業所が情報や課題の共有・発信を行なう「連絡会」が地域のネットワークの土台を担う



③個別支援へのフィードバックと同時に、地域課題発見・資源開発への気づきを促す「事例検討」の場



④・抽出された地域課題を集約する
・定例会や各専門部会の「事務局」業務を担う



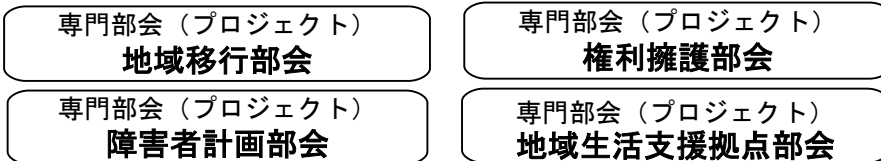
◎メンバー：協議会正副会長、基幹、障害福祉課

⑤・協議会全体の司令塔となる「定例会」
・地域課題の解決に向けたアイデア出し
・部会の動きをモニタする



◎メンバー：施策推進協議会正副会長、部会長、事務局、その他必要とする人

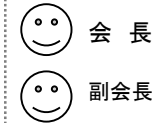
⑥・定例会の協議を踏まえ、地域課題の解決への取り組みをプロジェクト化する「専門部会」
・協議会の具体的成果として地域に発信・還元
◎メンバー：各部会の目的に沿ったコアとなる人



南アルプス市 障害者施策推進協議会

⑦関係機関・団体の代表者が市の障害者施策の総合的な推進のための方策を話し合う「施策推進協議会」
市の施策の進捗を見守るとともに、自立支援協議会で集約された地域の声を、市への施策提言につなげる場

施策推進協議会



市の障害者施策

平成30年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

-協議会の司令塔、地域の福祉課題の解決に向けたアイデア出し、専門部会の進捗管理-

定例会

●定例会について

- ・一人の当事者の困り事や支援者の抱える支援の困り感から見えた地域の福祉課題について、課題解決に向けた方策を協議します。
- ・地域の福祉課題についての協議の他、専門部会や連絡会の動きを進捗管理する機能により、自立支援協議会の核となる役割を果たしています。

●この1年の動きや出来事

- ・地域移行部会、権利擁護部会、地域生活支援拠点部会、障害福祉計画部会 4つの専門部会の活動について進捗状況を共有し、具体的で実行性のある活動につなげるための協議を進めたことで、協議会の司令塔としての機能が果たせました。
- ・事例から見える地域の福祉課題を精査し、働くことがキーワードとなる事例や市内の障害者相談支援事業のあり方の課題について共有、協議しアイデア出しを行いました。
- ・地域生活支援拠点部会にて作成をした、市内の障害者相談支援体制の強化に関する市長への提言書に関して共有、協議を行い、南アルプス市自立支援協議会としての合意形成を行いました。
- ・南アルプス市障害者相談支援センターの委託事業所の撤退に伴い、新たな委託事業所の選定に関する流れの共有や、今後の障害者相談支援センターの在り方についての議論を行いました。

●次年度の活動

- ・地域の福祉課題に関して声を幅広く吸い上げ、解決に向けて様々な人を巻き込んだアクションを行います。
- ・地域生活支援拠点の整備に関して、各部会連携しながら、より機能的な拠点体制の整備を考えていきます。

●委員

会 長：鴨作（相談支援センターカマラド）

副会長：田中（生活支援センタークローバー）

委 員：塩澤（障害者施策推進協議会会長） 上田（障害者施策推進協議会副会長）

有野（社会福祉法人 蒼溪会） 菊原（レーベン）

飯室（中北圏域マネージャー） 小林（マハロ）

依田（やさしい手南アルプス事業所） 中澤（総合相談課相談支援担当）

塚原（南アルプス市包括支援センター） 河野（総合相談課地域福祉担当）

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

権利擁護部会

●権利擁護部会について

- ・虐待防止を主眼として、市の体制や福祉現場の支援の質の向上について考えることを趣旨として、立ち上がりました。
- ・ファシリテートできる人材の育成を行っていくことや、障害者福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図した研修の企画を行いながら、南アルプス市の障害者虐待防止体制の在り方をまとめます。

●この1年の動きや出来事

- ・今年度から福祉現場で働き始めた職員を主な対象とし、日頃から業務に従事している支援者自身のケアを目的とした研修を実践しました。昨年度に引き続き山梨県立大学の山中達也先生をお招きし、支援者のメンタルヘルスをテーマとした講演をしていただきました
- ・障害者虐待防止の基礎を学び、事業所内での虐待防止体制を共に考える『障害者虐待防止基礎研修』をまずは部会員の所属している2法人（社会福祉法人青い樹の会、山梨県手をつなぐ親の会）で試行しました。従来の集合型研修ではなく、部会員が直接事業所へ出向いていく形式で実施しました。
- ・南アルプス市障害者虐待防止センターの機能強化・連携強化に向け、障害者虐待防止センターと障害者自立支援協議会権利擁護部会の合同研修を実施しました。障害者虐待に関する基礎的な部分の確認や、過去の障害者虐待の傾向も参考にしながら障害者虐待防止センターの体制を共に考えました。

●次年度の活動

- ・市内サービス事業所を対象とした障害者虐待防止基礎研修の本格的な実施を開始します。
- ・障害者虐待防止研修を障害者虐待防止センターと共に企画・実施します。
- ・障害者の権利擁護に関して、多機関との連携・協働を企画します。

●部会員

部会長：鴨作（相談支援センターカマラド）

部会員：野田（障害福祉課自立支援担当）

中澤（総合相談課相談支援担当）

藤森（梨の実寮）

菊原（ワークハウスみどりの家）

事務局：田中（障害福祉課自立支援担当）

窪川（障害者相談支援センター）

中村（障害者相談支援センター）



※10/19 開催 障害者虐待防止基礎研修

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

地域移行部会

●地域移行部会について

- ・精神科病院に長期入院されている方の地域生活への移行と長期入院の予防に取り組んでいます。
- ・地域生活への移行に向けた実際の支援を通して支援のモデルを作ること、南アルプス市として地域移行を推進するための体制を整えること、医療と福祉の連携体制を構築することを目標にしています。

●この1年の動きや出来事

- ・精神科病院（以下病院）に入院されている6名の方の退院支援に部会として取り組みました。この内、1名は高齢者施設へ退院、1名はアパートへの退院となりました。地域移行支援を通して、指定一般事業所と包括支援センターとの連携強化やピアサポーターの個別支援へと繋がりました。
- ・1年以上の入院患者との面会を継続しました。今年度は、県内6病院、県外1病院を含め35名の入院患者と面会を行いました。面会を通し地域移行支援の制度や暮らしの資源等をパンフレットとしてまとめ届けました。
- ・ピアサポーター連絡会と計画相談支援連絡会の合同連絡会を開催しました。ピアサポーター、特定事業所、指定一般事業所、病院から39名の参加があり、お互いの役割や機能、実践内容を学ぶ機会となりました。
- ・精神科病院の看護師や介護保険の主任介護支援専門員から事例提供を受け、高齢精神障害者の事例検討会を行いました。障害、介護、医療、行政の各分野の支援者・関係者の参加があり、お互いの制度や社会資源を学ぶ機会となりました。

●次年度の活動

- ・地域移行支援の実践と進捗管理を行います
- ・精神科病院の訪問を通し実態調査の実施、及び結果に対するマトリクス整理と分析を行います
- ・高齢精神障害者の事例検討の実施、及び障害、介護、医療、行政の連携強化やスキルアップを図ります
- ・ピアサポーターとの連携や協働、育成について協議します
- ・南アルプス市における地域生活支援拠点等の整備に関与し、体験の機会の機能に関する実施要項を整えます

●部会員

部会長：有野（蒼溪会）

部会員：上田・塩澤（峡西病院）、弘田・清野（県立北病院）

渡邊・時田（カマラド）、久保・藏條（きづな）

小野・福田（クローバー）、野田（地域包括支援センター）

事務局：輿石（障害福祉課自立支援担当）

中村（障害者相談支援センター）

和泉（障害者相談支援センター）



2018.7.11 高齢者精神障害者の事例検討会

南アルプス市のサポートマップ



グループホーム

- ① ふくしむら
- ② ふくしむらII
- ③ しらね
- ④ 梨保ホーム
- ⑤ ラ・ピエーノIII
- ⑥ コパン93
- ⑦ パウゼ95
- ⑧ ホスタ07
- ⑨ きただけ草
- ⑩ まんぼうハウス
- ⑪ はなみずき
- ⑫ みゆき
- ⑬ やまなみ
- ⑭ らくら
- ⑮ ドリームハウス
- ⑯ カマラド

相談先 あなたの暮らし、応援します！

南アルプス市障害者相談支援センター 055-282-6780

南アルプス市障害福祉課 055-282-6197

※どちらも、市役所本庁舎にあります（小笠原376）

「退院を考えている」「地域移行支援について知りたい」など、
お気軽にご相談ください。

拝啓、地域での生活を希望している皆さまへ

あなたの暮らし、応援します。

～地域移行支援のご案内～

チームなんぷす

☺ チームなんぷす

平成28年度に南アルプス市の行政、民間の支援機関、市内外の精神科病院で結成しました。南アルプス市障害者自立支援協議会地域移行部会として位置づけられています。精神科病院に入院し、退院を希望している方が、望むまちに住み、その人らしい暮らしが送れることを目指しています。

あなたらしい暮らしの実現と安心して暮らせるまちづくりに取り組みます！

☺ 地域移行支援って何だろう？



地域の相談支援事業所の相談支援専門員があなたに会い、お話しを伺いながら、退院後の暮らしに向けて必要な支援を入院中から提供します。

Q1 具体的に、どのような支援が受けられますか？

住まい探し、新たな暮らしや日中の過ごす場所での体験、申請などの手続きのサポート、退院後の生活に協力してくれる支援者（機関）の紹介などがあります。

Q2 誰でも利用できますか？

退院を希望する方、考えている方が対象です。年齢制限はありません。

Q3 利用するには、どこに相談すればいいですか？

まずは、南アルプス市障害福祉課や障害者相談支援センターまで、ご相談ください。

Q4 お金はかかるのですか？

サービスの利用に、お金がかかることは有りません。

外出など同行支援の際に、必要となった交通費や食事代はお支払い頂くことがあります。



☺ 実際に退院された方の暮らし

実際に地域移行の支援を利用して精神科病院を退院し、現在は希望する場所で暮らしている M さん。その生活をご紹介します。

♪♪ M さん（男性・70代・統合失調症・グループホームで暮らす） ♪♪



約20年の入院生活を送り、あきらめかけていた退院だったので、退院できたことが何よりも嬉しいです。自由に社会の空気を吸いながら、仲間との交流や好きな買い物を楽しんでいます。

♪ 今の暮らし

仲間とグループホームに住み、デイケアに通っています。自分と同じように、長く入院している方の退院をお手伝いする活動（ピアサポーター）もしています。

♪ 入院中のこと

早く退院したい、治したい気持ちで焦り、まさに闘病生活でした。長い入院生活で絶望感がありました。でも、入院前の生活を取り戻す決意を持ち続けていました。ある日、退院を応援してくれる制度があると知って、利用してみようと思いました。

♪ 退院までのこと

病院のスタッフさんだけでなく、地域の支援者さんも一緒になって、グループホーム探しや体験利用、退院後の暮らしに必要な手続きの同行など、サポートしてくれました。いろいろな不安にも寄り添ってくれました。

♪ これから

人生山あり谷あり。予測できないことにも遭遇します。自分の経験をいかし、支援者さんのサポートも受けながら生活していこうと思います。

利用しているサービスや制度

- ◆住まい
グループホーム
- ◆活動
ピアサポーター
精神科デイケア
- ◆相談
計画相談、病院、市役所
- ◆医療
外来通院、訪問看護
- ◆お金
ピアサポーター活動報酬
生活保護

お金のやりくり（1ヶ月）

収入（計）	85,000円
生活保護	80,000円
ピアサポーター	5,000円
支出（計）	60,000円
グループホーム（家賃、食費、光熱費）	40,000円
お小遣いなど	20,000円



平成30年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

地域生活支援拠点部会

●地域生活支援拠点部会について

- ・相談支援体制の充実と強化を図るために、南アルプス市に必要な地域生活支援拠点の機能を協議し、地域生活支援拠点の整備に向けた市への提言を目的としています。
- ・地域生活支援拠点とは、入所施設や病院からの地域生活への移行や、緊急時や「親亡きあと」の暮らしを支えるために必要な相談支援や居住支援の機能について整備するものです。
- ・国や本市の障害福祉計画で、地域生活支援拠点の整備が掲げられています。

●この1年の動きや出来事

- ・昨年度作成した整備計画（素案）を基に、南アルプス市の障害者相談支援体制の強化に関して市長への提言書としてまとめました。
- ・相談の機能を中心とする本市の地域生活支援拠点機能を平成32年度から運営を始めると定め、ロードマップの作成や整備の他圏域の視察を行い、各機能の体制整備に向けて本市に何が必要なのか協議を進めています。
- ・事業所向けに地域生活支援拠点研修会を開催し、障害福祉サービス事業所に対して地域生活支援拠点の各機能に対する理解を広げました。

●次年度の活動

- ・平成32年度からの運営開始に向け、より具体的な内容や体制について協議を進めます。
- ・地域生活への移行や単身生活に向けた体験の場の確保、重度障害にも対応できる人材の育成等、地域生活支援拠点に必要とされる各機能についても協議し、他圏域の動向も注視しながら本市の相談支援体制の充実を目指します。

●部会員

部会長：塩澤（育精福祉センター成人寮）

部会員：秋山（ケアセンターまた明日）

有野（社会福祉法人 蒼溪会）

鴨作（相談支援センターカマラド）

田中（生活支援センタークローバー）

菊原（レーベン）

飯室（中北圏域マネージャー）

事務局：志村（障害福祉課障害者自立支援担当）

田中（障害福祉課障害者自立支援担当）

和泉（障害者相談支援センター）

窪川（障害者相談支援センター）

中村（障害者相談支援センター）

平成30年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

障害者計画部会

●障害者計画部会について

- ・令和2年度から5カ年の第4期障害者計画を策定することを趣旨として立ち上がりました。
- ・コンサル業者への策定支援業務の委託を行わず、本部会が計画づくりの主要な議論の場となります。
- ・参加者全員が部会員という考え方のもと、当事者や家族、地域住民みんなの声を反映するための座談会を行います。

●この1年の動きや出来事

- アンケート調査実施… 「第4次南アルプス市障害者計画」を策定するにあたり、障害のある方の暮らしの現状や希望などを把握するためアンケート調査を実施。市内在住の障害のある方のうち18歳以上の方1,000人、18歳未満の方200人に調査票を送付。回収したアンケートを集計分析した。今後、計画の策定に反映させていく。
- 第1回障害者計画部会開催… 南アルプス市自立支援協議会10周年記念講演会と合わせ、第1回障害者計画部会を開催。「自立支援協議会10年のあゆみ」の行政説明・「障害者を取り巻く社会・支える社会～パラリンピックが日本に教えてくれること」の講演会が行われ、その後、参加者によるグループワークで講演を聴いて感じたこと・日頃から感じていることについて意見交換が行われた。

●次年度の活動

- ・障害者計画部会ワークショップ
座談会開催 昼の部
夜の部
週末の部
- ・第4次障害者計画策定

●部会員

部会参加者（どなたでも）



2019.3.21 第1回障害者計画部会

事務局：田中（障害福祉課障害者自立支援担当）
興石（障害福祉課障害者自立支援担当）
河野（福祉総合相談課地域福祉担当）

平成30年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

連絡会

-同種の事業所間による情報共有、ネットワークづくり-

計画相談事業所連絡会

●計画相談事業所連絡会について

- ・ 計画相談支援・障害児相談支援の円滑な提供に向けて、市内の指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が集まり、月1回開催している連絡会です。
- ・ 情報交換や意見交換を通じて相談支援専門員が抱え込まず、困り感や解決したいことを共有しお互いに支え合っていく場です。

●この1年の動きや出来事

- ・ 3ヶ月に1回、障害福祉課・障害者相談支援センター・連絡会コアメンバーで準備会を開催し、年度当初に『連絡会で取り上げてもらいたいこと』の協議を基に各月の協議内容を検討しました。ピアサポーターとの合同連絡会に向けて地域移行部会の取り組みや地域移行支援を学ぶ場や、実際にピアカウンセリングを体験する場など、協議会との連動を意識し、相談支援専門員の知識を広げる内容と相談支援専門員としての質を高める内容など様々な内容で実施をしました。
 - ・ ①教育連携 ②多職種連携 ③吐き出しの3つのプロジェクトチームを作り、前年度の取り組みを引き継いだ活動や日頃の業務の中から生じたニーズの解消に向けて取り組みました。
- ① 教育連携 … 市内の児童の支援体制として、教育関係者と繋がりながら、より分かりやすく連携しやすい『しくみ』の基盤作りに取り組み、教育委員会の担当者から直接話を聞く場を作り、その内容を連絡会で共有しました。また、教育委員会主催の関連研修に参加しました。
 - ② 多職種連携 … 病院ごとの機能や構造等の違いを理解していくために山梨県立北病院の見学、放課後等デイサービスとの合同連絡会の企画をしました。
 - ③ 吐き出し … 連絡会の中でピアカウンセリングを体験する機会を作るために、メンバーが県内のピアカウンセリングの場に参加し、運営の参考にしました。

●次年度の活動

この連絡会に携わっている相談支援専門員が主体となって作り上げていく連絡会にする為、偶数月は相談支援事業所が協同して協議内容を検討し、奇数月は連絡事項や自由な交流、情報交換等を柔軟に行います。また、地域課題を抽出していけるよう協議会との連動を意識した運営を目指していきます。

●メンバー

会長：レーベン

副会長：きづな

会員：ケアセンターまた明日 相談支援センターカマラド
ともろうなんでも相談室 ドリームハート
ひなたぼっこ クローバー
ぽけっとはうす あすなる



※ 計画相談連絡会での様子

障害福祉サービス事業所 合同説明会

●障害福祉サービス事業所合同説明会について

- ・障害福祉サービス合同説明会（以下説明会）を通し、障害福祉サービス（以下福祉サービス）の利用を考えている方や保護者が、支援関係者にサービス提供者から直接情報を収集できる機会を作りました。説明会が利用者の自己選択・自己決定・自己実現の機会となるようにしていきます。

●この1年の動きや出来事

- ・今年度の開催はありませんでした。
- ・支援学校の学生や教員の来場が増えるよう開催時期を見直し、従来の冬季の開催から次年度夏季の開催に変更しました。会場に関しても支援学校での開催としました。
- ・今回の説明会から保護者に実行委員になって頂き、より参加者の目線から、来場しやすい説明会のアイデアをいただきました。
- ・説明会を通して福祉サービスの利用につながるケースもあり、説明会が利用者の自己選択・自己決定・自己実現につながっています。

●次年度の活動

- ・次年度夏季の開催の為、各事業所への周知や運営の準備に引き続き取り組んでいきます。

●メンバー

会員：秋山（ケアセンターまた明日）

清水（たいよう）

小倉（生活支援センター クローバー）

望月（梨の実寮）

深澤（みらいコンパニー）

伊藤（保護者）

山下（保護者）

半田（保護者）

事務局：野田（障害福祉課）

和泉（障害者相談支援センター）

窪川（障害者相談支援センター）

南アルプス市障害者施策推進協議会

●障害者施策推進協議会について

- ・南アルプス市は、障害者基本法の規定に基づいて、障害者施策協議会を設置しています。
- ・障害者団体や関係機関の代表者等が委員として参画しています。
- ・南アルプス市の障害者施策の進捗状況の評価や、推進のための方策について協議します。同時に、自立支援協議会で協議され施策化が必要な事項について、市への提言につなげる場となります。

●平成30年度の主な取り組み

○南アルプス市の障害者施策について

1、第3次障害者計画の推進

(1) ライフステージを通じた途切れのない支援の体制づくり

中核を担う基幹相談支援センターの機能強化

- ・なんぷす事例検討会「ほっと」、内部事例検討会の開催
- ・市内相談支援事業所への巡回相談実施
- ・センター評価会議の開催

南アルプス市途切れのない支援の推進

- ・連携会議の開催
- ・保育所における「CLM と個別の指導計画」を行う研修会の開催
- ・困難を抱える子どもを支える学校と地域の連携に関する合同研修会の開催

(2) 障害のある人を取りまく地域社会の環境づくり

- ・障害に対する理解促進・啓発として、広報に記事掲載
- ・障害者差別解消地域相談員設置 基幹センター1名、障害福祉課1名

(3) 障害のある人の活躍を広げるまちづくり

- ・南アルプス市就労支援ワーク実施

2、第4期障害福祉計画の推進について

平成29年度における第4期障害福祉計画の進捗状況について確認

○地域生活支援拠点整備計画の提言について

地域生活支援拠点部会で検討を重ね、市への提言書を作成
施策推進協議会において協議

○第4次障害者計画について

自立支援協議会定例会において、障害者計画部会設置の承認
アンケート調査の実施
障害者計画部会開催

●承認された事項等

- ・地域生活支援拠点整備計画の提言について、承認されました。
- ・第4次障害者計画について、アンケート調査の実施及び集計分析について進めていくことが確認されました。

●今後に向けて

- ・南アルプス市の障害者施策について、年度ごとの進捗状況の評価を進めます。評価を進める中で、議論すべき事項について議題として取り上げていきます。
- ・自立支援協議会との連動を強化し、南アルプス市の障害者施策の推進に取り組みます。

●委員

区 分	氏 名	所属・役職等
関係行政機関の職員	土橋 信也	山梨県中北保健事務所峡北支所 次長
関係行政機関の職員	栞原 和政	甲府公共職業安定所 所長
学識経験のある者	戸澤 英子	南アルプス市民生委員・児童委員協議会 副会長
学識経験のある者	伊藤 千晶	社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会 地域福祉課長
学識経験のある者	○上田 譲二	特定医療法人南山会峡西病院 コメディカル部マネージャー
学識経験のある者	跡部 和男	県立わかば支援学校 校長
学識経験のある者	飯室 正明	山梨県相談支援体制整備事業 中北圏域マネージャー
障害者の代表	甘利 紘	南アルプス市障害者福祉会 副会長
障害者の代表	榊原 佳美子	南アルプス市視覚障害者福祉会 事務局長
障害者の代表	神宮寺 恭子	南アルプス市聴覚障害者協会 副事務局長
障害者の代表	川野 みどり	中巨摩心身障害児（者）父母の会 監事
障害者の代表	半田 加菜子	彩の会 - Sai コミュニティ - 代表
障害者の代表	中込 理恵子	南ぶすねっと保護者のつどい
障害者の代表	大塩 美千子	特定非営利活動法人ほほえみの会 副理事長
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	◎塩澤 一夫	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会 県立育精福祉センター成人寮 施設長
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	久保 志津子	特定医療法人南山会 地域活動支援センターきがる館 館長 相談支援事業所きづな 管理者
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	横内 幹	社会福祉法人さかき会みらいコンパニー 所長
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	松田 敬人	社会福祉法人青い樹の会 ワークハウスみどりの家 施設長 相談支援事業所レーベン 管理者
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	久保川 忠	特定非営利活動法人ジョブクリエイター ジョブスペースかけはし 理事長
障害者の福祉に関する 事業に従事する者	望月 和夫	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会 生活支援センタークローバー 管理者

◎…会長 ○…副会長

平成30年度南アルプス市障害者自立支援協議会 年間スケジュール

H31. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
定例会		5.25 (金)			8.23 (木)			11.22 (木)			2.21 (木)		定期開催
運営会議		5.10 (木)	6.6 (水)		8.7 (火)		10.1 (月) 10.26 (金)	11.15 (木) 11.22 (木) 11.30 (金)			2.6 (水)	3.22 (金)	定例会前後
地域移行部会	4.20 (金)	5.24 (木)	6.27 (金)	7.11 (水) 7.19 (木) 7.25 (水) 7.30 (月) 7.31 (火)	8.17 (金) 8.21 (火) 8.28 (火) 8.30 (木)	9.11 (火) 9.26 (水)		11.5 (月) 11.20 (火) 11.29 (木) 11.30 (木)	12.5 (水) 12.7 (金) 12.10 (月)	1.7 (月) 1.8 (火) 1.16 (水)	2.19 (火)	3.18 (月)	毎月
権利擁護部会		5.25 (金) 5.29 (火)		7.4 (水) 7.25 (水)			10.9 (火) 10.19 (金)	11.27 (火)		1.23 (水)	2.1 (金)		毎月
計画相談支援連絡会	4.19 (木)	5.17 (木)	6.21 (木)	7.19 (木)	8.21 (火)	9.20 (木)	10.18 (木)	11.15 (木)	12.20 (木)	1.17 (木)	2.21 (木)	3.19 (火)	第3木曜日
居宅介護事業所連絡会													第3木曜日、偶数月
地域生活支援拠点部会				7.19 (木)	8.29 (水)	9.19 (水)	10.29 (月)	11.19 (月) 11.27 (火)	12.28 (金)	1.28 (月)	2.25 (月)	3.12 (火)	毎月
事例検討会	4.27 (金)	5.25 (金)	6.29 (金)		8.24 (金)	9.28 (金)	10.26 (金)	11.30 (金)				3.22 (金)	月1回
障害者施策推進協議会							10.1 (月)						年1～2回
途切れのない支援連携会議	4.10 (火)	5.21 (月)		7.10 (月)	8.21 (火)					1.15 (火)	2.14 (木)		年4回
就労支援ワーク			6.4 (月)	7.4 (水)	8.30 (木)		10.19 (金) 10.25 (木)	11.9 (金)					
県自立支援協議会関係					8.7 (火)								
中北担当者会議		5.8 (火)			8.27 (月)		10.22 (月)	11.12 (月)	12.26 (水)	1.12 (火)	2.12 (火)		
施設合同説明会						9.10 (月)		11.16 (金)	12.13 (木)	1.11 (金)	2.14 (木)	3.15 (金)	
特定加算事業所・基幹連携会議	4.27 (金)		6.21 (木)	7.4 (水)		9.27 (木)	10.26 (金)	11.30 (金)					

平成30年度南アルプス市障害者自立支援協議会 委員名簿

NO	区分（要綱第3条第2項）	所	属	氏名	備考
-	(1)障害者及びその家族			-	
1	(2)障害者福祉に従事する者 障害者施策推進協議会会長	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	県立育精福祉センター成人寮	塩澤 一夫	
2	” 居宅介護事業所連絡会会長	社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会	南アルプス市社会福祉協議会	依田 和代	
3	” 計画相談支援連絡会会長	社会福祉法人青い樹の会	レーベン	菊原 一恵	
4	”	社会福祉法人青い樹の会	マハロ	小林 小百合	
5	(3)相談支援に従事する者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	生活支援センタークローバー	田中 正志	
6	” 地域移行部会長	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センターカマラド	有野 哲章	
7	” 権利擁護部会長	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センターカマラド	鴨作 光昭	
8	” 中北圏域マネージャー	社会福祉法人三井福祉会	アンダンテ	飯室 正明	
9	”	南アルプス市福祉総合相談課	相談支援担当	中澤 桂太	
10	(4)保健医療に従事する者 障害者施策推進協議会副会長	特定医療法人南山会	峡西病院	上田 譲二	
	(5)教育又は療育に従事する者			-	
	(6)就労支援に従事する者			-	
11	(7)地域福祉に従事する者	南アルプス市地域包括支援センター		塚原 麻理	
12	”	南アルプス市福祉総合相談課	地域福祉担当	河野 慎治	
-	(8)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者			-	

平成30年度南アルプス市障害者自立支援協議会 運営会議メンバー

NO	区分（要綱第9条）	所	属	氏名	備考
1	会長	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センターカマラド	鴨作 光昭	
2	副会長	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	生活支援センタークローバー	田中 正志	
3	会長が指名する者 事務局	南アルプス市障害福祉課	障害者自立支援担当	田中 強	
4	” ”	”	”	奥石 敬子	
5	” ”	南アルプス市障害者相談支援センター	(ぼけっとはうす)	窪川 知也	
6	” ”	”	(きづな)	和泉 和仁	
7	” ”	”	(カマラド)	中村 穰	